

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4672900133
法人名	社会福祉法人九十九会
事業所名	グループホーム秋光園
所在地	鹿児島県日置市東市来町長里360-1 (電話) 099-274-3770
自己評価作成日	令和元年8月14日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島市新屋敷町16番A棟3F302号
訪問調査日	令和1年9月7日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

GH秋光園は2ユニットありどちらも高台の日当たりの良い立地にあり、団地内にありますが静かな環境にあります。法人のグラウンドが目の前にあり、地域の方々がグラウンドゴルフを楽しまれたり自治会の運動会を開催したりされ、GHの入居者も運動会に参加したりと交流の場としても活用しています。今年度は入居者様と職員の関わりはもちろんご家族と入居者様との関わりや地域との関わりを形を考えるとというテーマを作り行事ごとや日々の生活の中での支援など職員間で話し合いながら取り組んでいます。先日は自治会の民生委員や子供会の方々の協力を頂き、法人のデイホールを使っていきいきサロンの活動の一つ七夕の飾り作りを開催する事ができました。自治会の方々や子供たちも大勢来られにぎやかで楽しい交流する時間を過ごせました。1つのユニットでは1日遠足と題して鹿児島水族館へ入居者様とご家族数名と一緒にいくことができとても貴重な時間を過ごし共有する事ができました。GH内の入居者様の高齢化も進みいろいろな面で見直しや形を検討しながら変えていかないといけない部分もありますが、入居者様やご家族の思い意見を踏まえつつ看護師や介護職員が連携を深めながら入居者様一人一人がその人らしく笑顔でゆったりと生活して頂けるように努めています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

ホームは日当たりの良い高台に位置し、法人の特別養護老人ホームやデイサービスセンター、在宅介護支援センターなどに隣接している。法人のグラウンドは地域住民にも開放して、グラウンドゴルフや利用者も参加する自治会の運動会などにも活用されている。自治会にも加入してサロンをはじめとした地域行事にも参加するなど、地域との交流は非常に活発である。

地域の消防署や住民の協力を得ながら、夜間も想定した消火訓練・避難訓練を実施すると共に、地域と防災協定を結び防災訓練に参加するとともに、特養を避難場所として提供している。訓練をさらに充実させるためにマニュアルの見直しも計画するなど防災への意識は高い。

管理者と職員は、何よりも利用者及び家族の意向や思いを大切に考え、年間テーマにも設定して支援に努めている。利用者とは日々の暮らしを通じて、家族からも主に来所時や家族会時に、話しやすい雰囲気作りを努めて多くの意見を得るよう取り組んでいる。内容は全員で共有して必要な対応を協議・実施できるよう努力を重ねている。

また、管理者は職員への日常の声かけのほか、相談や意見、提案を出しやすい雰囲気作りを工夫している。職員アンケートや個別面談など含めて職員とよく話し合いながら、外出や食事など利用者の楽しみにつなげるケアにも取り組み、利用者が「その人らしく笑顔でゆったり暮らせるように」を大切にされた支援に努めている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	今年度は理念に沿ったテーマを作りそれに伴った取り組みや関わりを協議しながら実践しています。	理念に加え基本方針を掲げ、これらを基に年間テーマを設定して、笑顔でその人らしくゆったりと暮らせるように日々のケアに取り組んでいる。理念は掲示して、ミーティングやユニットごとのグループワークで話し合い、意義を振り返って理解を深めるよう努めている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域行事への参加はもちろん、自治会の方々と交流の場を定期的に作っている。自治会の民生委員や子供会の協力を頂きいきいきサロンの活動の開催を法人で実施しました。	自治会に加入して地域の方々と合同の防災活動や自治会の運動会、サロン、文化祭などに参加している。民生委員や子ども会の協力を得て法人でいきいきサロンや夏祭りも開催し、利用者はこれらの交流を楽しんでいる。また、サマーボランティアや実習生の受入れなども積極的に行っている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	法人全体での夏祭りや地域の方たちと合同の防災訓練を実施しています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	隔月で実施し自治会長や民生委員、他事業所の管理者、市の担当者や入居者様ご家族、入居者に参加してもらい幅広い意見交換や情報交換ができています。	会議ではホームからの現況や行事・事故等の報告と共に、市の職員や他事業所の管理者などの参加メンバーから、質問や意見なども受けて有意義な情報交換の場になっている。議事録や家族会で内容の周知を図り、具体的な改善策が家族や地域との交流及び日々のサービス向上等に活かされている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議のなかで近況の状況報告を頂いたりアドバイスを頂いています。	市の担当者から運営推進会議でも情報や助言を得るとともに、認定更新の機会等に利用者の暮らしぶりやニーズを伝えて連携を深めている。また、市主催のグループホームやケアマネの協議会でも意見や情報の交換を行っている。在宅介護支援センターを通じての入所相談なども多い。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	3ヶ月に1回の身体拘束廃止検討委員会を開催し、現状の確認や見直し、代替案などを話し合い必要性を検討していています。	身体拘束に関するマニュアルや指針を整備し、身体拘束廃止委員会では現状の確認や見直し、必要な対応策の検討を行っている。また、身体拘束や高齢者虐待に関する勉強会を実施して、職員の理解を深めケアへの反映を図っている。職員は利用者個々の状況を十分把握するように努めると共に、利用者の行動に注意を払い、連携して見守りを行っている。近隣の地域住民や関連法人の職員にも見守りや声かけをしてもらえるような関係を築いている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	法人内の研修への参加や会議などで「人権」について学び「虐待防止」を確認しています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	法人全体で研修をしたり、関連の研修に参加したり情報を頂きながら学習しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入所前に契約に関する説明を行い、必ず書面に残し記録しています。改定後は再度説明を行い同意書などを準備して同意、理解を得ています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族会や運営推進会議参加時、面会や受診時など意見交換や相談できる機会をつくり要望に答えられるように努めています。	自分の思いをうまく表せない利用者も含めて気持ちの把握に努め、家族とは訪問時の対話や運営推進会議、家族会などで、何でも言ってもらえるような雰囲気づくりに努めている。得られた意見、要望等は、日常的には申し送り時や申し送りノートの活用で情報共有を図り、日々のミーティングやユニットごとのグループワーク等で解決策を話し合い、ケアへの具体的な反映に取り組んでいる。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月の会議やグループワークの中で職員同士の意見交換を行ったりしお互いの考えが確認できるような機会を設けている。	日常のミーティングやケア時の対話の他に、毎月の合同会議や勉強会、グループワーク、時には個別面談を実施して意見や提案を聴取している。日頃より話を聴く機会を多く設けるように努め、職員アンケートや第三者の助言等も活用して、就業環境の改善やスキルアップ、利用者へのサービス向上の実現を図っている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	各職員のライフスタイルに合わせた勤務時間や勤務調整を行っています。処遇改善についても自己評価などを用いてその都度見直しを行っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>法人内外の研修参加やグループホーム内での勉強会、個別の面談などで個々のスキルアップに努めています。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>市のGH協議会やケアマネ協議会に加入し、研修や会議に参加し交流や情報交換を行っています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入所前に面談や情報収集を実施し、落ち着くまでは出来る範囲でのご家族のサポートや環境整備に努め連携体制を作り安心して過ごせるように努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	事前の面談や情報収集に加え、入所当日に担当者会議を実施しご家族からの要望や状況に応じた体制づくりに努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	まずはGHで出来る事、出来ない事を明確にし本人やご家族の意見を聞きながらその時の本人にとって大切なものを見極めながら実施出来るように努めています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	本人の嗜好や出来る事に目を向け、簡単なお手伝いやホームでの居場所や役割作りに努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	本人からの要望を伝えたりしながらご家族と過ごす時間や機会をつくり一緒に支援出来る体制作りに努めています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	お盆や正月にご家族や子供達、孫たちが集まる機会を事前に連絡して頂いたりそれに合わせた一時帰宅や外泊を調整したりして定期的に家族との時間を持つるように努めています。	本人が地域や地域住民との関係を継続できるように、地域のサロンや併設のデイサービスでの知人との交流を支援している。家族との一時的な帰宅や墓参り、外食なども積極的に努めている。また、電話や手紙の取り次ぎのほか、家族の来所時には居室でゆったりと過ごせるように配慮している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者全員で行う行事やイベントを計画し、入居者同士の交流や関係づくりに努めています。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所時に限らず退所後も相談や要望がある場合はいつでも遠慮せず連絡してほしいと伝えています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	普段の関わりのなかで本人からの要望や思いを聞いたり、本人目線での環境整備や検討をするように努めている。	本人の気持ちに沿った対応を大切に考えて、日々の暮らしを通じて声かけも丁寧に行い、思いや意向の把握に努めている。内容は申し送りノートやケース記録・介護日誌等への記録や日々のミーティングで共有を図り、家族とも相談しながら利用者本位の最良の支援を目指す努力を重ねている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前の情報や本人、ご家族からの聞き取りからの情報を参考に把握に努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の観察や記録をしっかりと行い、状態変化などへの早期発見や対応の検討に努めています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	職員同士は申し送りや連絡ノートで情報の共有を図り、毎月のグループワークや定期的なモニタリングでケアの見直しや検討を行っている。必要時は看護師などへ相談、アドバイスを頂き介護計画を作成している。	本人や家族の意向や希望、主治医や看護師を含む関係者からの情報を申し送りやノートで共有し、グループワークやモニタリング等で職員が十分な意見交換を行い、職員の意見や気付き、アイデアも反映したきめ細かなわかりやすい介護計画を作成している。経過はケース記録や介護日誌、支援経過記録等に具体的に記述し、変化する利用者や家族の思いや希望に添って、計画の見直しや修正を適切に行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>日々の観察から気づいた点や変化は個別の台帳に記録し、グループワークや会議などで報告や意見交換を行っている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>入居者様の高齢化やそのご家族の高齢化など現状に適した新しい支援の形、行事ごとへの取り組みなどを考えて実践している。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を文書している地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>自治会の運動会や地域行事へ積極的に参加し交流の機会を持つように努めています。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>本人やご家族の要望もふまえつつ主治医やかかりつけ医を決め毎月の訪問診療を受けている。毎月、精神科医の訪問診療もある。</p>	<p>本人や家族の希望するかかりつけ医を受診できるように、家族と協力しながら訪問診療や通院を適切に支援している。精神科医の訪問診療もあり、それぞれの医療機関と密に連携している。受診状況や必要な対応も看護師や職員をはじめとする関係者で情報の共有が図られ、家族への連絡も適切に行っている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>気づいた点や変化を看護師へ報告、相談し情報の共有や意見交換ケアの見直しや健康管理に努めています。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>入院時は状態確認や退院後の生活について病院の相談員や看護師と連絡を取り準備体制を作ります。ご家族の要望なども病院へお伝えし相談、対応できる連携体制づくりに努めています。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入所契約時に管理者から説明しています。状況に応じて本人やご家族の意思を確認し、相談や要望を聞きながら協力病院との体制づくりに努め出来る事と出来ない事をしっかり説明しています。</p>	<p>重度化や終末期のケアについては、指針を整備して3種類の意向確認書を交わして方針を共有している。協力医療機関や法人の関連施設などと連携して、その意向を反映するために、ホームで「できること、できないこと」をはっきりと示し、可能な限りの支援を行えるように体制づくりしている。関連するマニュアルも整備し、看護師とも連携して勉強会を行い、緊急時にも適切に対応できるように取り組んでいる。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>事故や急変に関してマニュアルを作成し、看護師との連携体制や研修や勉強会などで確認しています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>法人全体での防災訓練や地域と協力しながら防災訓練を実施しています。</p>	<p>法人で地域と防災協定を結び、災害時には特養を避難場所として提供するようにし、地域の防災訓練にも参加している。また、法人の避難訓練に合わせて年2回、夜間想定も含む避難訓練を実施し、避難経路や場所の確認も行っている。訓練には消防署や地域住民の参加も得ている。スプリンクラーや自動通報装置等の設置、食料や水の備蓄も十分で、訓練の充実のためにマニュアルの見直しも計画している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
いて					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	普段の声掛けが慣れ合いにならないように注意し、毎回ケアの前に入居者への声掛け、説明を行いながら介助を実施しています。	個人情報保護や接遇等の研修の充実を図り、ケアの際には周りにも配慮しながら丁寧な声かけ、説明に努めている。特に、本人の誇りやプライバシー確保のために、不適切な対応や言葉遣いが無いように留意している。各居室にはトイレが設置され、記録類の管理も含めて、プライバシーは適切に保護されている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	行事ごとへの参加の有無や洋服の選択など些細な事でも選択の自由を尊重し自己決定できるように努めています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	声掛けしながらその日の状態や気分を確認し、入居者様のペースに合わせた対応に努めています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	洋服の好みや化粧、白髪染めなど本人からの要望に沿った対応に努めています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	自分でおにぎりを握って頂いたり、お好み焼きを焼いてもらったり外食や出前をとってみたい食への楽しみを考えながら提供しています。	ユニットごとに献立は異なるが、好みも把握して、旬の食材や家族からの差し入れも活用し、利用者のできることは手伝ってもらいながら、時には家族も一緒に楽しく食事できるようにしている。誕生日の特別食や季節の行事食の提供をはじめ、出前や外食、弁当などを企画して、利用者の楽しみにつなげるようにしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	旬のものを出来るだけ取り入れながらメニューを作成し食事を楽しんで頂いています。摂取量はチェック表を用いて確認しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、能力に応じて声掛けや介助により口腔の清潔保持に努め定期的な歯科受診はご家族と連携し受診しています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄パターンや状態に合わせて見直しやパットの使用も検討しています。状態によってはリハパンから普通パンツへ戻す方もいます。	自尊心に配慮し、家族からの情報も参考にして、個々のパターンや状態に合わせた対応を心掛け支援している。丁寧な声かけ誘導で、トイレでの排泄を大切にしながら、他の排泄用品の使用も適時検討している。各居室にトイレがあるため、プライバシーの確保には十分な配慮がなされている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分摂取量や食事を工夫しながら出来るだけ自然排便を促しています。便秘傾向の方は主治医や看護師へ報告、相談し薬の調整を行っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	週2～3回の入浴を実施しています。職員が1対1で対応しゆったりと入浴を楽しめるように配慮しています。	家族からの聞き取り情報も活用して、週2～3回の入浴を、本人の習慣や気持ちに添うよう柔軟に支援している。基本的には職員と1対1でゆったりと入浴してもらっている。バイタルチェックや皮膚等の観察も丁寧に行い、安全面や利用者の不安・羞恥心にも十分に配慮している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	本人の状態や希望に応じて寝具や室温調整を行い安眠できるような環境整備に努めています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	看護師が中心となって主治医やご家族と相談しながら服薬支援を実施しています。変更時は申し送りやチェックボードを使用して情報共有を行います。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	本人の生活歴や嗜好に合わせた簡単な活動やお手伝いを考えながら支援しています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	年間行事では入居者全員での外出を計画し、その時の気候や体調などをみながら外出支援を行っています。本人の要望があれば個別に調整したり、ご家族と協力・調整したりしながら支援を行っています。	利用者の健康状態や天候を見ながら、本人の希望に沿って敷地内の散歩や日光浴、近隣のドライブなどを支援している。年に数回、計画に沿って、自治会の運動会や馬踊りなどの地域行事、関連施設との交流、初詣や季節の花見、ドライブを兼ねた外食などに出かけている。家族の援助のもとでの墓参りや自宅での食事、外泊も積極的に勧めている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>現在入居者で金銭管理をしている方はいません。ご家族の同意をもとにお小遣いを預かり使用した際は家族へ報告しています。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>入居者の希望があればご家族へ説明し電話の支援を行っています。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>各居室は入居者の希望や動線を考えた配置になっています。共有スペースは季節感を感じられるような飾りや掲示物を置いたり写真などを掲示して目でも楽しめるように工夫しています。</p>	<p>敷地はグラウンドもあってたいへん広く、多くの植木もあって散策や日光浴に適した環境で、法人の関連施設に併設されている。明るく広いリビングは家庭的な雰囲気であり、季節の花や行事の写真、手作りの作品などが飾られている。ゆったりと日光浴や対話ができるように、廊下にはイスやソファも配置されている。全体に室温や湿度、採光や清潔感などに配慮がなされ、落ち着いて気持ちよく過ごせる環境になっている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>廊下や窓際にソファや椅子を準備し日光浴や談笑を楽しめるように配置しています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>家族の写真や在宅で使用していたものを置いたり一人一人が落ち着いて過ごせる環境づくりに努めています。</p>	<p>居室もその人らしく落ち着いて暮らせる環境づくりを大切に考え支援している。本人が馴染みの家具や写真、使い慣れた身の回りの物が持ち込まれ、趣味の活動もできるようになっている。ホームからはエアコンやベッド、トイレや洗面台、クローゼットなどが準備されている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>本人の状態や動線に合わせた配置を考えながら出来る限りの環境整備に努めています。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない